

紹介

ポール・エム・スケージの英国労働党観 ——その著書『社会主義論』の紹介を兼ねて——	小林 巧	75
--	------	----

第21卷 第1号 (1951年10月)

論文

古典派自由主義の再検討	大館 堯 寿	1
貨幣数量説についての研究(一) ——現金取引数量説と現金残高数量説を中心として——	田 中 稔	19
中世英国の婦人労働(続)	小 林 巧	40
テイラア・システムについて	土 屋 嘉一郎	63

第21卷 第2号 (1951年12月)

論文

社会保障の財政経済的機能	小 林 幾次郎	1
マルクス主義社会主義の再検討 (カール・マルクス, 1818-1883)	大 館 堯 寿	37
河川と其経済的効益に就て ——隅田川を引例して観察する——	新 井 啓 藏	85
マルクス「抽象的労働論」の方法について ——再び遊部久藏氏の教示を仰ぐ——	佐々木 晃	117

第21卷 第3・4号 (1952年3月)

論文

ケインズの雇傭, 利子及び貨幣の一般理論	大 館 堯 寿	1
中世演芸諸座の経済問題	尾 形 亀 吉	39
アメリカの消費組合について	上 林 正 矩	74
パチョーリ「簿記論」の一齣	片 岡 義 雄	90
初期資本主義と婦人労働—英国—	小 林 巧	105

第22卷 合併号 (1953年1月)

論文

財政支出としての社会保障費の分析	小 林 幾次郎	1
17世紀アメリカ植民思想の二, 三の特徴 ——アメリカ経済思想史のためのノート——	岡 本 清 造	45
商店の内部疾患の診断法	井 関 孝 雄	92

ニューヨーク・カーブ取引所の組織及び機能	上 林 正 矩	133
商法における株式会社整理会計	片 岡 義 雄	156
日本農業の近代化過程の諸問題	的 場 徳 造	174
二宮尊徳の人物と思想について	岩 崎 金一郎	187
貨幣数量説についての研究(完)		
——所得説を中心として——	田 中 稔	199
「完全雇用」の概念について		
——政策目標の明確化のために——	井 手 生	222
産業革命と英国婦人たち	小 林 巧	239
フォーディズム批判	土 屋 嘉一郎	267
マルクス「貨幣論」の方法について(一)		
——宇野弘藏氏の教示を仰ぐ——	佐々木 晃	285
「商業」概念の多様性と混乱(覚え書)		
——社会的「企業論」のために——	吉 田 隆	321
C・G・ノット『算盤——その歴史的及び科学的面について』	山 崎 与右衛門(一)	

第23卷 第1号 (1953年5月)

論 文

北京政府時代の財政

——民国財政史 第一部——	小 林 幾次郎	1
貨幣数量説の「所得及び支出型」	大 館 堯 寿	55
統計学上の中位数に対する疑問点とその解決法(一私案)	佐 藤 輝 実	93

書 評

グルーバー『完全雇用の状態』	井 手 生	114
----------------	-------	-----

第23卷 第2号 (1953年7月)

論 文

商品学の課題	岩 崎 金一郎	1
インドにおける農村経済の特徴(一)	岡 村 邦 輔	13
労働組合運動と英国婦人(一)	小 林 巧	40
交通論における若干の概念		
——交通論序説(試論)——	吉 田 隆	62

書 評

デール『会社の組織構造の計画と発展』	土 屋 嘉一郎	95
--------------------	---------	----

第23巻 第3号 (1953年9月)

論 文

初めて発表された我が国の標準職業分類……………	森	数	樹	1
17世紀イギリスの植民思想の二、三の特徴 ——アメリカ経済思想史のためのノートに寄せて—— ……	岡	本	清	造
				35
労働組合運動と英国婦人(二)……………	小	林	巧	69
マルクス「貨幣論」の方法について(二) ——宇野弘藏氏の教示を仰ぐ—— ……	佐	々	木	晃
				90
紹 介 ターヴェイ編『完全雇用下の賃金政策』……………	井	手	生	120

第23巻 第4号 (1953年11月)

論 文

17世紀イギリスの植民思想の二、三の特徴 ——アメリカ経済思想史のためのノートに寄せて—— ……	岡	本	清	造
				1
米国における戦時価格統制についてのメモ……………	迫	間	真	治
				郎
貨幣政策の課題……………	田	中	稔	69
人絹六社の経営分析……………	土	屋	嘉	一
				郎
紹 介 ハンチントン『文明の原動力』……………	大	館	堯	寿
				120

第23巻 第5号 (1954年1月)

論 文

経済要素の配合率と生産物……………	大	館	堯	寿
				1
イタリアにおける簿記文献の概観(その一)……………	片	岡	義	雄
				35
非対称度(歪度)に関する一問題……………	佐	藤	輝	実
				45
交通論序説(試論)(続篇) ——交通論における若干の概念(二)——……………	吉	田	隆	75
欧米における「資本論」の研究 ——マルクスの方法に関する諸見解の紹介と検討—— ……	佐	々	木	晃
				105

第23巻 第6号 (1954年3月)

論 文

生と諸範疇並びに文化価値・経済価値創造……………	高	木	友	三
				郎
				1

17世紀アメリカの富および富の増進に関する思想 ——アメリカ経済思想史のためのノート——	岡本清造	24
ソ連およびソ連圏の貿易政策	伊部政一	52
資 料		
資本主義社会における国民所得論の諸問題	ア・パルツォフ稿 的場徳造訳	80
紹 介		
『若干の会計用語とその概念』	園田平三郎	105

第24巻 第1号 (1954年5月)

論 文		
17世紀アメリカの富および富の増進に関する思想(続) ——アメリカ経済思想史のためのノート——	岡本清造	1
労働組合運動と英国婦人(三)	小林巧	42
紡織工業の経営分析	土屋嘉一郎	68
資 料		
国民所得統計 ——国連エカッフエ会議に使用して——	森 数 樹 (一)	

第24巻 第2号 (1954年7月)

論 文		
法価値・政治・道徳価値と経済価値	高木友三郎	1
恐慌に関する諸理論	大館堯寿	26
17世紀アメリカの富および富の増進に関する思想(続) ——アメリカ経済思想史のためのノート——	岡本清造	48
ソ連国家財政の分析	伊部政一	80
企業会計における原価計算の地位	園田平三郎	99

第24巻 第3～5号 (1954年10月)

日本大学経済学部創立50周年記念論文集

発刊の辞	松葉栄重	
論 文		
商品意匠論序説	新井啓蔵	1
火災保険の複合契約について	石田祐六	16
企業金融論の立場と其の範囲	井関孝雄	35
ケインズ経済学と完全雇用	井手 生	46

東西貿易の潮流とわが国貿易政策の基調……………	伊 部 政 一	58
日本經濟史予論		
——日本經濟史の特性についての一考察——……………	岩 崎 金一郎	78
貿易の基本的諸原理……………	大 館 堯 寿	92
新中国の対資本主義国家との貿易……………	大 塚 恒 雄	127
両毛地方機業發達史研究の一齣……………	大 沼 健 吉	140
商人考		
——中国における商人の起源とその發展——……………	尾 形 龜 吉	155
インドにおける農村經濟の特徴(二)……………	岡 村 邦 輔	171
東京都内鮮魚小売店の類型と生態		
——「都内52鮮魚小売店実態調査」に基づいて——……………	岡 本 清 造	188
會計学上の類似勘定		
——特に準備金、積立金及び引当金に就て——……………	小田切 松 義	214
社会思想研究への序論……………	加 田 哲 二	232
株式会社合併會計……………	片 岡 義 雄	259
証券市場論の研究範圍について……………	上 林 正 矩	291
貿易業會計に関する一問題		
——貿易業に於ける原価計算に関する一試論——……………	楠 原 正 也	305
社会保障的経費と所得再分配……………	小 林 幾次郎	325
自由主義人口思想の成立と發展……………	小 林 宗三郎	335
労働保護法と英国婦人……………	小 林 巧	351
經濟現象の性格		
——之を貫徹せる根本原理——……………	小 西 憲 三	369
マルクス「貨幣論」の方法について(三)		
——宇野弘藏氏の教示を仰ぐ——……………	佐々木 晃	382
日本数学史瞥見……………	佐 藤 輝 美	397
古代漢民族の經濟思想概観……………	鈴 木 憲 久	432
原価管理とその方法(一)		
——材料費の技術的原価管理について——……………	園 田 平三郎	460
文化価値の意味並びに価値体系・經濟価値……………	高 木 友三郎	476
ヨーク・アントワープ・ルールズ (York-Antwerp Rules) の沿革……………	鷹 取 稠	503
貯蓄と投資		
——貯蓄と投資の均等及び不均等に関する諸説について——……………	田 中 稔	529
人絹織物業最近の動向……………	土 屋 嘉一郎	551
戦後日本の人口問題		
——その轉換期的特質と諸困難について——……………	永 井 亨	568
国有化産業の問題		
——特に価格形成方式について——……………	迫 間 真治郎	596

日本農業の課題

——特に米の生産諸条件の分析——	的 場 徳 造	611
日本標準産業分類	森 数 樹	633
中国算盤覚書	山 崎 与右衛門	674
経営における組織編成の課題	山 城 章	692
経済学の科学性	山 県 一 雄	712
交通発達の指標(若干の批判と私見)		
——交通論序説(試論)(三)——	吉 田 隆	727
『一般理論』の価格論(一)	有 賀 文 夫	758
我国現下の輸出貿易金融制度	高 橋 芳 三	770

第24巻 第6号 (1955年2月)

論 文

東京都内鮮魚小売店の類型と生態(二)

——「都内52鮮魚小売店実態調査」に基づいて——	岡 本 清 造	1
マルクス「貨幣論」の方法について(四)		
——宇野弘藏氏の教示を仰ぐ——	佐々木 晃	56

紹 介

ドロシー・マーシャル『英国における家事使用人の歴史』	小 林 巧	97
D・ハムバーグ稿『完全稼働成長と完全雇用成長』	井 手 生	109

第25巻 第1号 (1955年4月)

論 文

株式価格の構成要因	高 木 友三郎	1
-----------	---------	---

東京都内鮮魚小売店の類型と生態(三)

——「都内52鮮魚小売店実態調査」に基づいて——	岡 本 清 造	29
フレデリック・バステア	戸 田 正 雄	72

交通史序論

——交通論序説(試論)(四)——	吉 田 隆	89
------------------	-------	----

資料・紹介

J・R・コモンス『集団行為の経済学』	土 屋 嘉一郎	122
統欧米における「資本論」の研究		
——マルクスの方法に関する諸見解の紹介と検討——	佐々木 晃	130
『効果的な計画と統制のためのトップ・マネージメントへの報告書』	園 田 平三郎	145

第25卷 第2号 (1955年6月)

論 文

庶民金融の研究機関としてのラッセル・セージ財団	井 関 孝 雄	1
17世紀アメリカにおける貨幣思想(上)		
——アメリカ經濟思想史のためのノート——	岡 本 清 造	15
中国算盤覚書(二)	山 崎 与 右 衛 門	45
分配論	大 館 堯 寿	66
ビルマ労働者の賃銀	岡 村 邦 輔	86
紹 介		
ジー・イー・ケイ・アール・フッセル『英国の農村婦人』	小 林 巧	114
T・グレイダナス稿『ケインズ經濟理論の發展』	井 手 生	121

第25卷 第3号 (1955年8月)

論 文

『価値判断論争』と理論經濟	高 木 友 三 郎	1
17世紀アメリカにおける貨幣思想(下)		
——アメリカ經濟思想史のためのノート——	岡 本 清 造	24
經濟史学の理論的要素に関する一考察(その一)		
——本質と方法について——	岩 崎 金 一 郎	65
上海における阿片の流動状況を回顧して	大 塚 恒 雄	78
日本に於ける外航船の概況	鷹 取 稔	94
資料・紹介		
続欧米における資本論の研究(承前)		
——マルクスの方法に関する諸見解の紹介と検討——	佐 々 木 晃	123
P・N・ウォーリス著『経営管理のための財務報告書』	園 田 平 三 郎	141
藤田敬三・金持一郎共編『日本の中小企業』	土 屋 嘉 一 郎	151

第25卷 第4号 (1955年10月)

論 文

日本標準商品分類の改訂に際して	森 数 樹	1
マルクス社会思想の發展と批判(その一)	加 田 哲 二	26
人為的資本からの所得	大 館 堯 寿	61
「商業学の在り方」について(覚書)(上)		
——「『商業』概念の多義性と混乱」続篇——	吉 田 隆	107

資 料

近世絹織物業における産業資本の形成

——伊勢崎織物発展概観——……………木村隆俊 140

第25巻 第5号 (1955年12月)

論 文

明治政府の鉄鋼政策

——その確立に至る陣痛の一断面——……………大沼健吉 1

英国農村婦人の変貌

——第二次インクロージャを中心にして——……………小林巧 37

マルクス「貨幣論」の方法について(五)

——宇野弘藏氏の教示を仰ぐ——……………佐々木 晃 83

貿易経営に於ける信用限度……………浜谷源蔵 123

第25巻 第6号 (1956年2月)

論 文

マルクス社会思想の発展と批判(その二)

——ドイッチェ・イデオロギイ——……………加田哲二 1

株式会社の自己資本について……………片岡義雄 28

損害填補理論の史的考察……………石田祐六 46

中国観察の基本的要件……………岩崎金一郎 66

「デカプリスト運動」序説

——ロシア社会思想史研究の一節——……………小林宗三郎 79

「商業学の在り方」について(覚書)(下)

——「『商業』概念の多義性と混乱」続篇——……………吉田隆 104

第26巻 第1号 (1956年4月)

論 文

米国景気の特徴と長波性……………高木友三郎 1

マルクス社会思想の発展と批判(その三)

——「哲学の貧困」と「共産党宣言」——……………加田哲二 15

17世紀アメリカにおける金融論

——アメリカ経済思想史のためのノート——……………岡本清造 59